

平成30年度 事業報告

1 会議の開催

●幹事会の開催

- ・日時 5月28日(月) 14:00~15:40
- ・場所 (公財)北九州産業学術推進機構 技術開発交流センター1F中会議室
テーマ(総会議案・市内発ロボット創生事業審査会)

●総会の開催

- ・日時 6月13日(水) 13:00~13:40
- ・場所 西日本総合展示場 AIMビル3階 F展示場
- ・参加者 25名

●セミナーの開催

①定期総会記念講演他

- ・日時 6月13日(水) 13:45~15:35
- ・場所 西日本総合展示場 AIMビル3階 G展示場
- ・参加者 115名

○定期総会記念講演

テーマ：次世代ロボットの研究開発と産業界への橋渡し
講師：国立研究開発法人 産業技術総合研究所
情報・人間工学領域 知能システム研究部門長 河井 良浩 氏

○ロボットビジネストピックス

テーマ：第4次産業革命を支える産学官連携プラットフォーム
講師：北九州工業高等専門学校 生産デザイン工学科
知能ロボットシステムコース 教授
国立高等専門学校機構 研究推進・産学連携本部員 久池井 茂 氏

○平成29年度市内発ロボット創生事業 成果報告

テーマ：インフラ点検のための平行移動式ドローンの開発
講師：北九州工業高等専門学校 生産デザイン工学科
機械創造システムコース 准教授 滝本 隆 氏

2 研究開発の支援

北九州市で生まれたロボットが実際に導入され、製品化・商品化につながるように、市場を見据えた研究開発プロジェクトを促進した。ユーザーとのマッチングや公的研究開発助成の獲得支援など、コーディネート活動を行った。

●市内発ロボット創生事業

平成30年度は、下記のテーマについて研究会活動、研究開発を推進した。

“ロボットの街北九州”を実現するロボット教育用プラットフォーム

- ・日程
- テーマ募集期間 4月9日(月)~5月11日(金)
- プロジェクト活動期間 6月25日(月)~3月29日(金)

- ・研究会メンバーと活動概要
- 参加メンバー

プロジェクトリーダー：株式会社クアンド 代表取締役 CEO
九州工業大学 客員准教授 下岡 純一郎 氏
取りまとめ企業：株式会社クアンド
研究グループ：株式会社クアンド、北九州工業高等専門学校、北九州市立大学、FAIS

活動概要

将来のロボット人材を対象とし、独自の機械・電気系のハード・ソフトの開発により新たなロボット教育用プラットフォーム（ロボット教材セット）を創出するものである。

今回開発したロボット教材セットにより、地域から発信でき、幼稚園児～大学生の使用を見据えた基盤ハード及びビジュアルなプログラミングが可能な基盤ソフトのプロトタイプが完成した。

今後は、教育現場でのユーザーテスト（βテスト）を重ね実用化に向けて取り組む。

3 人材育成の推進

●生産性向上スクール

平成30年度経産省事業「スマートものづくり応援隊」事業に採択され、システムインテグレーター候補者を対象にして、基礎から中級レベルまで幅広く知識を習得いただくために、以下の6講座（延べ15回）を開講し、延べ受講者数68名を育成した。

- 1 産業用ロボット基礎講座
- 2 パラレルリンクロボット基礎講座
- 3 ビジョン応用講座
- 4 協働ロボット体験講座
- 5 ロボットシミュレータ活用講座
- 6 ロボット・IoT連携体験講座

4 情報発信・交流の促進

北九州市が保有するロボット技術について市内外にPRするとともに、市民のロボット技術に対する理解を深めるため、ロボットに関する情報やフォーラムの活動を発信した。

●展示会の開催

- ・6月13日(水)～15日(金) ロボット産業マッチングフェア北九州2018(西日本総合展示場新館)
出展者数 21社・団体、32小間
来場者 17,214名(3日間合計)

●展示会への出展

- ・6月3日(日)～5日(火) ロボティクス・メカトロニクス講演会2018(西日本総合展示場)
6月4日(月)～5日(火) ロボメック2018in北九州(企業展示)(西日本総合展示場新館)
来場者 2,000名余(2日間合計)
- 6月3日(日) 地域交流ワークショップ 参加者45名
 - ①テーマ：北九州市発!! “管路検査ロボット” もぐりんこシリーズ” の誕生秘話
講師：株式会社石川鉄工所 代表取締役 石川 清光氏
 - ②テーマ：インフラ等点検ロボットの開発
講師：株式会社国際海洋開発 専務取締役 丹 康弘氏
 - ③テーマ：ロボット関連事業へ異業種からの参入取組事例
講師：有限会社ICS SAKABE 代表取締役 坂部 好則氏

④テーマ：万能ロボットハンド開発苦労話

講師：前田機工株式会社 技術コンサルタント 九州工業大学 准教授 西田健氏

- ・10月17日（水）～21日（日） ワールドロボットサミット2018（東京ビッグサイト）
来場者 76,374名（5日間合計）

●北九州ロボットフォーラムのPRの推進

展示会の開催や出展のほか、ホームページ更新やニュースレター（電子メール）配信を行い、市内外に広く北九州ロボットフォーラムの活動情報を発信した。

●北九州学術研究都市フォーラムセミナー 「生産性向上につながるロボット関連技術の紹介」

平成30年12月11日 学研都市会場 参加者110名

概要：大学等の先生方から、標題に係る研究内容等を事例として紹介いただいた。

①テーマ：ロボティクスAIへの取組み：フィールドセンシングロボット

講師：九州工業大学 情報工学研究院 教授

社会ロボット具現化センター 副センター長 林 英治 氏

②テーマ：生産性向上と働き方改革を支えるロボット技術とデジタルものづくり

講師：国立高等専門学校機構 研究推進・産学連携本部員

北九州工業高等専門学校 教授 久池井 茂 氏

③テーマ：IoTやロボット技術導入のための共同研究の紹介

講師：九州職業能力開発大学校 生産電気システム技術科 教授 秋好 政徳 氏

●技術交流サロン「ロボットの挑戦 ～未来のものづくりを変える！～」

平成31年2月15日 学研都市会場 参加者69名

概要：技術競技会をとおして、ものづくり分野等へのロボット応用の現状と課題を紹介した。

①テーマ：WRSものづくりカテゴリーでは何を競うのか？

－ 競技会を通しての次世代生産システムの開発促進 －

講師：神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻 教授

WRSものづくり競技委員長 横小路 泰義 氏

②テーマ：WRS競技会を通して進化するホームサービスロボットの知能

講師：九州工業大学大学院 生命体工学研究科 准教授 田向 権 氏

③テーマ：フューチャー・コンビニエンス・ストア・チャレンジを振り返って

講師：首都大学東京 システムデザイン学部 准教授 和田 一義 氏

●後援・協力

- ・12月8日（土）～9日（日） 「第5回トマトロボット競技会」後援